

# 睡眠時無呼吸症候群の患者様

日本歯科大学医科病院 内科 准教授 廣野 玄  
教授 大越 章吾

<はじめに>

・睡眠時無呼吸症候群は睡眠中に酸素不足となるため、もともと脂肪肝がある人では脂肪肝がより進行する可能性があり、さらに肝臓が硬くなってしまう状態（肝臓の線維化）も起こる可能性があります。

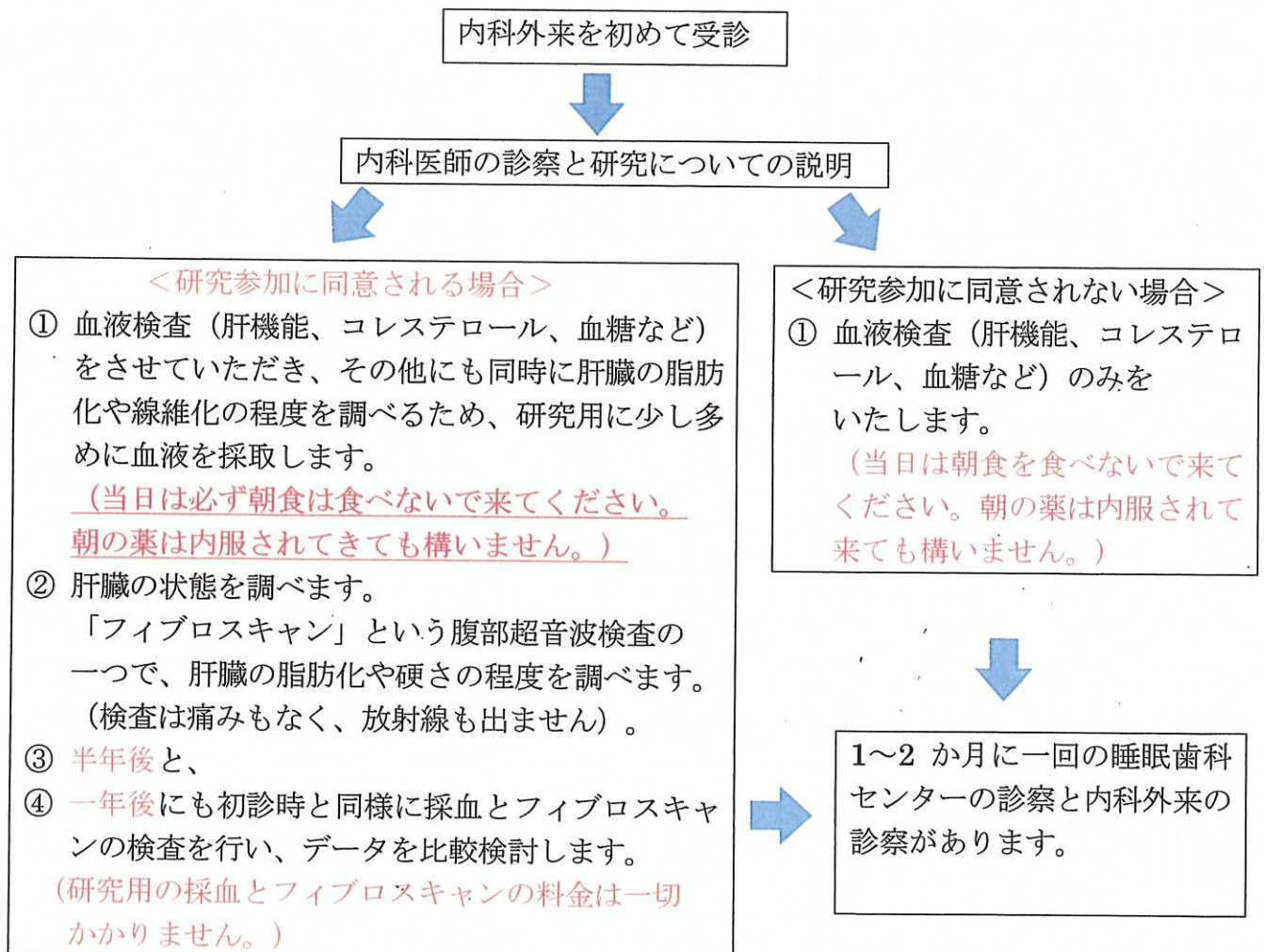
・そこで我々は、CPAP（持続的陽圧呼吸療法）を行うことにより睡眠中の酸素不足が改善されることに着目し、CPAPを行うことによって肝臓の脂肪化や線維化の進行を抑える、または改善させるのではないかと、という発想から以下の手順にて研究を行いたいと思っております。

・この研究内容は、日本学術振興会によって平成 28 年度の研究助成事業としてすでに許可されています。（課題番号：16K09564）

何卒、研究にご協力していただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

<今後の診療の流れ>

CPAP が始まって約一週間後、すべての患者さんに内科外来を受診していただきます。



＜研究対象者となることにより＞

期待される利益：脂肪肝、肝線維化の程度などを、後ほど検査数値で知ることができます。CPAP を行うことによって、半年後や 1 年後の肝臓の脂肪化や線維化の変化を知ることができます。

起こり得る危険性：通常の採血と同様です。採血後に内出血、痛みを起こすことがあります。フィブロスキャンについては特に危険性はありません。

＜個人情報＞ 個人情報の保護には万全を期して取扱います。また、本研究結果を公表するに際して個人が特定されることはありません。

＜協力の拒否＞ 本研究にご協力いただけても、治療等で不利益を受けることは一切ありません。また、承諾後でも研究への参加をいつでも取りやめることができます。

＜費用＞

1. 内科初診時にはすべての患者様より採血をさせていただき、糖尿病や脂質異常、肝障害などをチェックさせていただいております。保険診療での料金が発生いたします。
2. 研究にご参加の患者様は、内科初診時に血液をやや多めに採取させていただき、さらに肝臓の脂肪化や線維化の程度を調べさせていただきますが、その料金は発生いたしません。フィブロスキャンも料金はかかりません。
3. 研究にご参加の患者様は、CPAP を始めて半年後と一年後にも初診時と同様に糖尿病や脂質異常、肝障害などの採血（保険診療での料金が発生します）と、肝臓の脂肪化や線維化の程度を調べる研究用採血（料金はかかりません）、およびフィブロスキャン（料金はかかりません）をさせていただきます。
4. また、定期的な診療のための費用はいただきますが、それ以外の研究検査にかかる費用はいたしません。

なお、この研究は日本歯科大学研究倫理審査において承認されていることを申し述べさせていただきます。

【以下については、研究に同意される方のみ、内科外来を受診される日に記入していただきます】

## 日本歯科大学 研究同意書

研究課題：夜間低酸素血症による NASH 繊維化進展機構の解明とその新規対処法の確立

説明者

平成 30 年 5 月 / 日

所 属： 内 科 学

氏 名：

植 野 友

以上の説明を理解しましたので、上記研究に参加協力することに同意します。

平成 30 年 5 月 / 日

氏 名： 植 野 友